

	<p>日本プライマリ・ケア連合学会 中部ブロック支部</p>		<p>発行人：佐藤 寿一 事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻 総合診療医学 内 Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951 E-mail: juichi@med.nagoya-u.ac.jp</p>
---	------------------------------------	---	--

ニュースレター No.32(2020.12) 本号の編集担当者 宮崎 景

【支部情報】

予定

1) 『中部ブロックポータルフォーリオ発表会 * 2021』

2021年3月7日(日) 会場:名古屋大学医学部鶴友会館2階大会議室

報告

1) 『第9回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会』

2020年11月29日(日) オンライン開催

テーマ:「コロナ禍におけるプライマリ・ケア」

教育講演

「新型コロナウイルス流行下におけるメンタルヘルス・ケア」

01: 当院における新型コロナウイルス感染症について

西村 勇人(医療法人社団芙蓉会 ニツ屋病院)

02: 精神科医の立場から

角田 雅彦(石川県こころの健康センター)

シンポジウム

「新型コロナウイルス流行下におけるプライマリ・ケア提供者の取り組み」

01: COVID-19 流行に関連した外出制限は高齢者の活動を制限するのか?

大西 権亮(県北西部地域医療センター 白川村国保白川診療所)

02: コロナ時代における地域医療実習 ～オンライン参加型多職種カンファレンス～

清水 海斗(永平寺町立在宅訪問診療所/福井大学医学部附属病院総合診療部)

03: 老健施設クラスターへの取り組みと今後の課題

山城 清二(富山大学附属病院総合診療部)

斉藤 麻由子(富山大学附属病院総合診療部)

04: 日本プライマリ・ケア連合学会の新型コロナ感染症に対する取り組み

中山 久仁子(医療法人メファ仁愛会 マイファミリークリニック蒲郡)

05: 総合討論「これからのプライマリ・ケア提供者の課題」

以上のプログラムにてオンラインのみにて開催され、70名が参加されました。

教育講演では、コロナ禍の中抑うつ状態となり、身体症状のみを主訴にプライマリ・ケア医を受診するケースが増えるものと思われ、プライマリ・ケア医が抑うつ症状を見逃さないことが自殺を防ぐことにつながると、精神科医の立場からプライマリ・ケア医への期待が寄せられました。

今回特に反響が大きかったのが、教育講演とシンポジウムでの院内、施設内での COVID-19 クラスターへの対応でした。感染そのものへの対策はもちろんのこと、職員、その家族へのメンタルも含めた対応、メディアへの対応、クラスター終息後も続く問題など、直にお話を聞いて初めて気づくことも多かったようです。

●静岡県

報告

令和2年9月より静岡県支部代表を浜松医科大学の井上真智子先生に交代いたしました。このコロナ禍で県支部の活動をどうすべきか、新執行部でまた検討したいと思います。皆様からのご意見もお待ちしております。

文責：前代表北西史直

●福井県

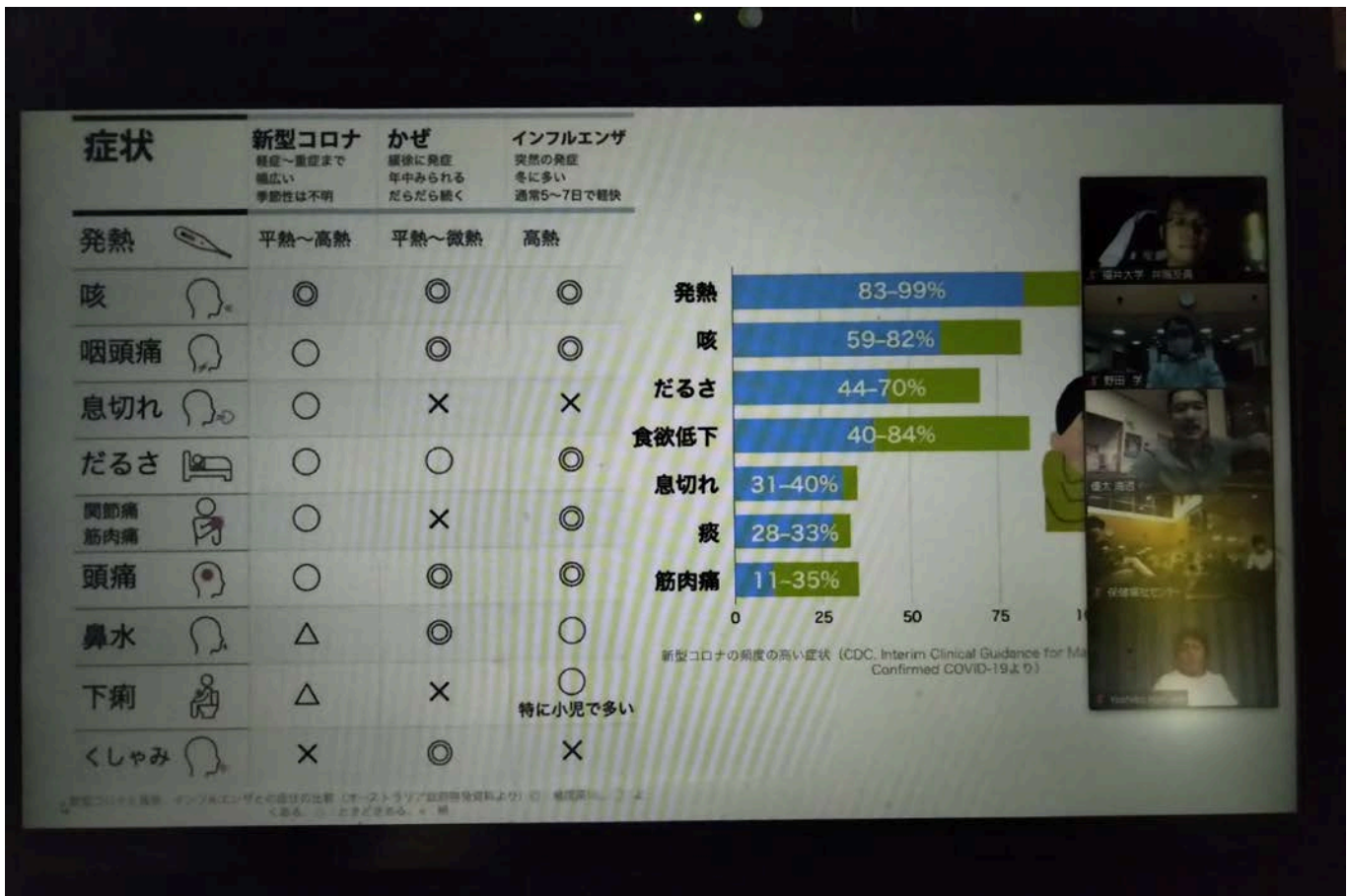
【報告】

1) けっこう健康！高浜☆わいわいカフェ オンラインで再始動！

～高浜町(福井大学医学部地域プライマリケア講座)から～ 井階友貴

新型コロナウイルス感染症の動向を受け中止しておりました、地域社会参加型研究(Community-Based Participatory Research: CBPR)とソーシャル・キャピタルの醸成をベースにした地域課題解決アクションリサーチ「けっこう健康！高浜☆わいわいカフェ」(通称「健高カフェ」)が、Zoom会議システムを併用した形で、2020年9月より再開いたしました。「オンラインのつながり」「新型コロナウイルス感染症」「相続」など話題を提供しながら、参加者とどっくばらんに胸の内を語り合いました。早速、コロナウイルスの知識を広めてオンラインでつながる取り組み「新型コロナウイルスクイズ大会」の企画が提案され、近々実現の予定です。

<http://www.kenko-machizukuri.net/kenkocafe/>



2) 医者との上手な付き合い方は？～医者のトリセツ～」住民向け講演会@永平寺町

～永平寺町立在宅訪問診療所から～ 楠川加津子



福井大学医学部のある永平寺町から福井大学が運営管理を委託されてできた永平寺町立在宅訪問診療所ができて、1年になりました。新型コロナウイルス感染症の動向をみて講演会も中止しておりましたが、三密を避けて、約1年ぶりに再開しました。今回は診療所の診療もお手伝いしてくださっている福井大学医学部総合診療部教授:林寛之先生と所長の楠川がコラボして、上記タイトルで1時間余りで開催しました。楠川の方からまず多疾患併存、かかりつけ医を持つことの重要性、2種類の医師の協同のお話をご紹介し、その後林寛之先生より「こいしい」「さわやか」のmnemonicからなるいい医者の見分け方などが披露されました。ドクターGの軽快な語り口に、皆さん引き込まれていました！今後も流行の動向をみながら、2-3か月に1度、健康づくりにつながるテーマで開催していく予定です！！(楠川加津子)



3) オンラインでの医学生教育方法～ラジオ企画～

～福井大学医学部附属病院 救急総合診療部から～ 石本貴美

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、今年度の医学生病院実習にも多大な影響がありました。今年度の実習が始まるにあたり、密集を避けるためにオンラインでの実習が開始となりました。その後、流行の程度と相談しながら、現在はグループの半分は病院実習、残り半分はオンラインでの実習参加という形をとり、密集を避けつつオンラインでも病院実習と変わらない経験を得られるように努めています。レクチャーやカンファレンス以外に、新たな取り組みとして、“ラジオ企画”を始めました。実習生から提出されたレポート内の質問や考えを匿名で提示し、その都度お答えしていくというものです。「身体所見を学びたいのだが良い教材はないか?」、「問診のコツはありますか?」というものから、「どうして総合診療を選んだのですか?」、「これからの野望はなんですか?」など面と向かっては聞きづらい質問も多くみられるようになり、本当のラジオをきいているようだと呼びたいです！引き続きオンラインでの教育で楽しく学ぶ事ができるよう努めていく予定です！



〈今後の予定〉

1)2020年12月12日 第2回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会 前夜祭

特別講師 市立福知山市民病院 川島 篤志 先生

学生向けのセミナーWS

演題「高齢者診療における 身体所見のエッセンス」

2)2020年12月13日 第2回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会

特別講師 市立福知山市民病院 川島 篤志 先生

演題「地方都市 基幹病院からみた 病院総合医の役割」

発表会 北陸地区 専攻医4名

3)2021年6月12～13日 第1回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会

特別講師 浅井東診療所 松井 善典 先生

〈専門医プログラム説明会および見学について〉

随時ご連絡いただければ Zoom を利用したオンライン説明会およびオンライン見学を受け付けています。

ご気軽にご連絡ください。

連絡先 福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター sotsugo@med.u-fukui.ac.jp

●石川県

報告

1) 第9回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック支部学術集会を主管

(大会長: 恵寿ローレルクリニック 吉岡哲也)

今回初めて石川県支部の主管で開催されました。利便性等考慮し、当初は観光スポットとしても有名な近江町市場の会議室での開催を計画していましたが、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念により完全なオンライン開催となりました。

オンライン開催ですが、石川県主管の色が少しでも出せればと教育講演は石川県のお二人に依頼し、座長も石川県羽咋診療所の野口卓夫先生と金沢医科大学能登北部地域医療研究所の中橋毅先生が担当しました。開催中にはこのうち3人もの方がオンラインへの接続トラブルに遭いましたが、途中演順を入れ替えたり、一時的に代役を立てるなどして、遅延なく集会を進めることができました。大会中裏で連絡を取りながらトラブルに対処できたのは、石川県内で意思疎通が取り易かったのもあるかと思えます。

開催自体が危ぶまれたこともありましたが、みなさまのご協力により成功裏に終わられたことに感謝いたします。

★石川県コソコソ噂話

学術集会が開催された11月29日は「いい肉の日」。肉と言えば松阪牛が有名ですが石川県の「能登牛」(のとうし)もかなり美味しいらしい!「能登牛たべてウッシッシ!」などキャンペーンも複数ありますが、今はオンラインでの購入や「ふるさと納税」の利用程度に留めておいた方がいいかも。

2) 能登地域総合診療強化研究会

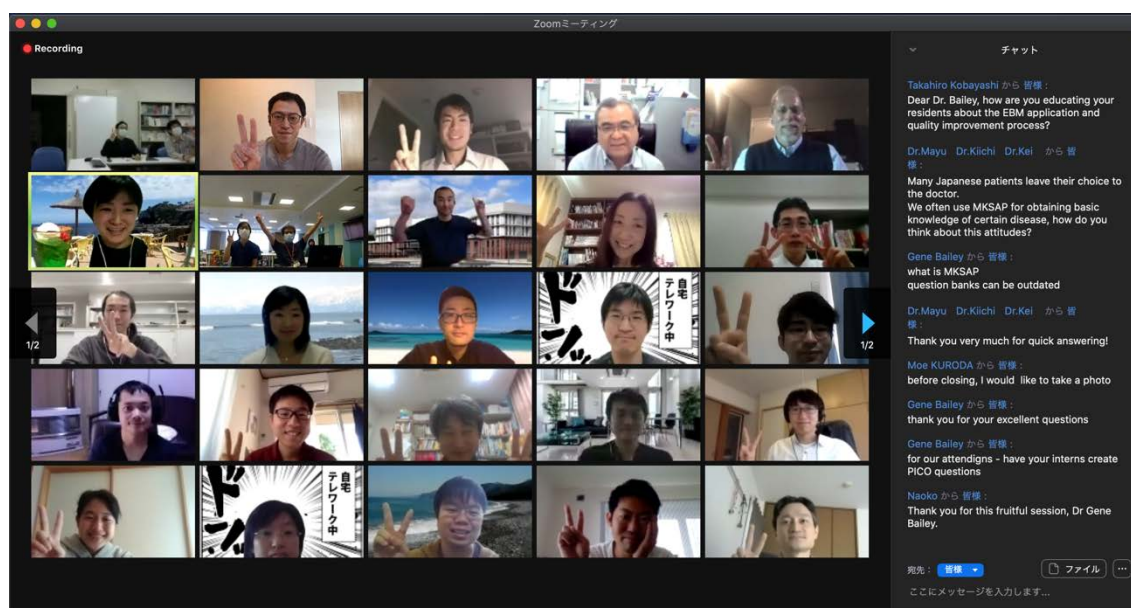
これまで「クリニカルラウンド」の開催を報告してきましたが、今年度は開催できず。年度中に何か別の形で研究会を開催できないか検討中です。

●富山県

報告

○日米 EBM 勉強会

今年7月に富山からNew York, Syracuseへ渡米しUpstate Medical Universityで家庭医療レジデントとして働いている黒田格先生を発起人として、R. Eugene Bailey先生を講師に招き、Upstate-Toyama共同企画として11月21日にZoom上で開催されました。まずBailey先生からEBMの3本柱、EBMを臨床に応用するための5つのステップについて解説があった後、実際に黒田先生が経験した症例に対してEBMを用いて考えるという形で実臨床に即した内容となりました。当日は富山だけでなく、恵寿総合病院、雲南市立病院、沖縄中部病院など日本各地から40名以上の先生方に参加していただき、黒田先生の通訳もあり大変実り多い時間となりました。今後第2弾も企画中のことです!



○とむじえり勉強会

これまでも毎月開催していた専攻医のためのポートフォリオ勉強会(通称:とむじえり勉強会)。今年度は新型コロナウイルス

の影響もあり Zoom を用いてオンラインで定期開催しています。富山県内の研修施設が県内全域に渡っていることから、これまで西と東でサイトを分けて行っていました。オンライン化により県内の指導医専攻医が一堂に会するだけでなく、毎回全国からゲスト講師を招待。さらにアメリカからも黒田格先生(上記)が参加し、世界を巻き込み開催されています。今年度から本格的に企画運営が専攻医主体となっており、内容に関してゲスト講師からも高い評判を得ています。まだまだオンラインならではの課題もありますが、毎回アンケートを行いながらより良い会になるよう PDCA サイクルを回しています。もし県外から参加したい先生方がいらっしゃいましたらぜひお声がけください！

なお、勉強会の中で話題になったことを、とある指導医がブログにまとめてシェアしています。こちらも併せてご覧ください！

<https://moura.hateblo.jp/>

<今後の予定>

月 1 回開催しているとむじゅり勉強会は今後も毎月下旬に開催を継続していく予定です。興味のある方はこちらまで →

miyono@med.u-toyama.ac.jp

●岐阜県

【報告】

1)総合診療スキルアッププログラム学習会 2020

日時:2020年6月以降不定期で開催、8月末までに計9回開催しました。

場所:Microsoft Teams でオンライン開催

講師:総合診療指導医

内容:症例に基づく臨床推論、画像診断、身体診察

参加者:各回4~15名の医学生

2)第44回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時:2020年10月2日(金)19:00~20:00

場所:オンライン開催

講師:大垣市民病院循環器内科 渡邊直樹先生「心不全診療のポイント」

岐阜大学脳神経外科学 江頭裕介先生「脳塞栓症に対する最新の治療と再発予防」

3)第1回関節穿刺・注射実践セミナー

日時:2020年11月28日(土)16:00~17:15

場所:岐阜大学医学部本館小会議室

講師:岐阜大学整形外科助教 田中領先生

内容:膝と肩関節のモデルを用いた穿刺の実習

参加者:総合診療専攻医3名を含む医師15名



【予定】

1) 第45回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス

日時:2021年2月5日もしくは3月5日(金)18:00~20:30

場所:長良川国際会議場

講師:未定

●三重県

【活動報告】

1)総合診療 虎の穴 巻之四 開催

日時:2020年9月7日(月)18:30~20:00

会場:Zoomによるオンラインセミナー

テーマ:ジェネラル×家族システム

演目:研修医が知っておくべき家族面談のコツ

演者:若林英樹 先生(三重大学医学部亀山地域医療学講座 教授)

2)第12回プライマリ・ケアエキスパートナース研修会 開催

日時:2020年9月19日(土)14:00~15:30

会場:三重県人権センター 多目的ホール

演目「地域ネットワークを生かした感染症対策～プライマリ・ケアの視点から考える～」

演者:松島由実 氏(岡波総合病院 看護部長)

新型コロナウイルス感染症の第3波が予測される中、今回は「地域ネットワークを生かした感染症対策～プライマリ・ケアの視点から考える～」をテーマに松島由実氏に講演いただきました。

長年、感染管理に携わってこられた松島氏ならではのわかりやすい説明とPPEの着脱の演習も参加者全員で行いました。エキスパートナースの連携が感染管理対策にも生かしてもらえることを願っています。



3)総合診療 虎の穴 巻之伍 開催

日時:2020年10月5日(月)18:30~20:00

会場:Zoomによるオンラインセミナー

テーマ:外来診療のツボ

演目:外来の達人「知っていれば秒殺」～教科書が教えてくれないあの疾患、この疾患～

演者:宮崎景 先生(三重大学医学部 名張地域医療学講座 講師)

4)総合診療 虎の穴 巻之六 開催

日時:2020年12月8日(火)18:30~20:10

会場:Zoomによるオンラインセミナー

テーマ:救急から始める総合診療

演目・演者:

○「救急府外来での女性診療」 原田直樹 先生(津ファミリークリニック)

○「虎馬(トラウマ)の背後に潜む鹿(疾患)も仕留める」 橋本修嗣 先生(はしもと総合診療クリニック)

【今後の予定】

1) 総合診療 虎の穴 巻之七 開催予定

テーマ:未定

演者:中西雄紀 先生(伊勢赤十字病院)

●東海家庭医療ネットワーク

報告

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、活動が滞っているものの、会員の学びを支援する方策を幹事たちが毎月会議をして検討を重ねています。

12月5日には当会初となるWEBカンファレンスを開催する運びとなり、準備会を立ち上げてここ数か月毎週のように企画を練ってきました。今回はZoomを利用し、組織のリーダーシップについて参加者と議論を重ねる予定です。この原稿を記載している時点では開催直前ですので、次号で詳細が報告できると思います。

(文責:代表 田中久也)

<支部運営についての情報>

●各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；宮崎景、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；北西史直

●プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘(藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム)

●中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子(中部ブロック支部事務局) e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp